

世界遺産委員会決議への対応について（その２）
「遺産影響評価」の実施について

すべての大規模な道路改修の提案に当たっては、個々の構成資産の周辺環境の見え方を含め、顕著な普遍的価値の属性に対する影響を計る「遺産影響評価（Heritage Impact Assessment）」を行うこと。

【対応】

- 資産及びその周辺において予定されている開発計画について、資産への影響を計る「遺産影響評価」を実施することとした。

【平成 30 年度経過報告】

- H30. 5 開発計画照会
 . 7 照会結果の検討・評価対象事業リストの更新
 . 11 岩手県世界遺産保存活用推進協議会・平泉保存検討部会（１）
 H31. 3 岩手県世界遺産保存活用推進協議会・平泉保存検討部会（２）

【現在進行中の遺産影響評価】

	評価対象事業	事業主体	評価年度	備 考
1	一般県道平泉停車場中尊寺線 (無量光院跡)	県	H23	推進協と事業者と調整中(事業着手済み)
2	北上川中流部緊急治水対策事業 (白鳥館遺跡)	国交省	H24	推進協と事業者と調整中
3	平泉スマートインターチェンジ建設事業（毛越寺・緩衝地帯）	民間 平泉町	H27	推進協と事業者と調整中
4	中尊寺境内仏堂等増改築事業 (中尊寺光勝院仏堂・客殿増改築)	中尊寺	H28	推進協と事業者と調整中(事業着手済み)

【平成 30 年度に評価の対象となった事業】

	開発計画名	資産との関係	計画期間	備 考
1	平泉の文化遺産ガイドンス施設 (仮称)	資産直近 (近接大規模)	H29～H33	③

【資産及びその周辺において今後想定される主な開発事業】 ※平成 30 年 6 月現在

	開発計画名	資産との関係	計画期間	備 考
1	国道 4 号平泉バイパス拡幅	資産直近 (近接大規模)	未定	②
2	町道柳之御所線	資産内 (近接小規模)	計画休止	①
3	柳之御所遺跡建物復元	資産内 (近接大規模)		②
4	新平泉町立体育館	緩衝地帯 (近接大規模)	未定	①

(太字は推薦書及び追加情報資料に記載していない計画であるが今後評価が必要と判断したもの)

<参考：計画内容の段階説明>

- ①基本構想（方向性の検討、事業段階表）
- ②基本計画（基本的な内容の検討、年次計画表）
- ③基本設計（基本的な仕様の決定、事業工程表）
- ④実施設計（詳細な仕様の決定、工事工程表）

評価事業対象については、②、③でも評価できるもの、④によって評価できるものなど開発計画内容によることから、各々の開発計画内容に合わせて事務局及び関係市町が総合的に判断し選択する。